東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ
地域を育み、大地をつなぐ

Vol.44　第2160回例会　2011.3.10

今年度会長テーマ　温故知新　そして　和

■司会：
五十嵐例会運営委員長

■点鐘：山本会長

■合唱：ロータリーソング
「我等の生業」

◆ソングリーダー：
野澤会員

■会長報告　山本会長

3月5日に交換留学生であるヤカブ・ティーメアが通う桜華女学院の卒業式に町田パスト会長と出席して参りました。内容はなかなか今時の良い卒業式でした。現在彼女は沖縄旅行中です。
皆様こんにちは。3月も三分の一が過ぎて、お彼岸、年度末と皆様もお忙しい時期に入られた事と思います。しかし春はすぐそばまで来ていますので、春先特有の不安定な天気に負けずに元気に多忙な3月を乗り切って頂きたいと思います。また、我がクラブも本日は樺澤会員研修委員長の卓話で、来週の17日の(木)は16日(水)のＦＲＣ例会変更、異例のＦＲＣにご異論は色々とございましょうが、一人でも多くのメンバーのご出席をお願いしたいと思います。「企画運営は大変、出もしないで文句をいうにはおかしい、出席をした上で改めて意見感想として言葉をかけて話し合えるのがロータリアンではないのか？」
そして再来週17日(木)、18日(金)は我がクラブの親睦旅行となります。山本・中丸年度の最後の事業となりますので、一人でも多くのメンバーの皆様のご参加をお待ちしております。大変に忙しい3月になるとは思いますが、皆様も健康に留意され元気に今月も乗り切りましょう。

それではスローガンを復唱致します。「温故知新」古きを　たずね　新しきをしれば　もって師となるべし。
①例会に出席し、メンバー間の懇親を深め、自分自身に有意義な例会を見つけよう。
　そして自分自身の例会出席の楽しみを見つけよう。
②例会を欠席したら、メークアップを必ずしよう。
③入会時のスポンサーは新人メンバーのメークアップの面倒を必ず見よう。
④食事の廃棄を少なくする為に例会を欠席する時には、前々日までに事務局に連絡を入れよう。
⑤夜間例会、懇親会、旅行に奮って参加しメンバーの懇親を深めよう。
⑥クラブメンバーの全員卓話を盛り上げよう。
⑦マイ箸を失くさない様に使おう。
⑧交換留学生をしっかりと育てよう。
⑨阿部ガバナー補佐の掲げた、キャッチアップ90
　(出席率90％以上)を実現しよう。

先月の2月も皆様のご協力で平均出席率94.38％を達成しました。3月も是非平均出席率90％と1回の100％例会を達成したいと思います。ご協力を宜しくお願い致します。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／野村　高章　石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

■幹事報告　中丸幹事

■東村山市防衛協会：
定期総会の案内について
2011年4月9日(土)　13:30～
於　三光寿司

■菅生学園：
2011年度東海大学菅生高等学校、中学部入学式の案内について
2011年4月9日(土)　10:00～
於　体育館

■東京福生ＲＣ：
移動例会「デジカメ教室」のお知らせについて
2011年3月20日(水)　13:00
石川酒造入口集合　デジカメ持参のこと

■ガバナー事務所
・地区大会お礼状の受理
・第3回日台ロータリー親善会議の案内の受理
2011年6月10日(金)　14:00～
於　ホテルグランヴィア京都
登録料　15,000円
・2010～11年度ＲＩ第2580地区地区協議会開催のお知らせ
2011年4月19日(火)　13:00～
於　椿山荘
出席者　次年度会長・幹事、次年度8部門各委員長
・2010～11年度地区補正予算の報告の受理
・「第16回ロータリー日本青少年交換研究会」案内と参加・登録の依頼について
2011年6月4日(土)～5日(日)
於　ホテル奥道後

■ガバナーエレクト事務所：
2011～12年度地区委員就任・承認依頼について
①地区社会人育成委員会委員→野村高章会員
（↑現・青少年育成委員会のこと）
②地区オン・ツー・バンコク委員会委員→山本智治会員

■東京ベイＲＣ：
卓話のお願いについて
2011年5月26日(木)　12:30～13:30
於　ロイヤルパークホテル

■次年度ガバナー補佐：
2011～12年度地区委員選出のお願いについて
地区米山奨学委員会委員1名

■ロータリー囲碁同好会：
「第12回ロータリー国際囲碁大会」台湾開催のお知らせについて
2011年4月30日(土)～5月2日(月)
於　台湾・桃園市

■出席報告　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
35	24	1	8	75.00

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：1名
■前々回出席率メークアップ修正後：96.88%
■前々会メークアップ者：
北久保会員：所沢ＲＣ
熊木会員：所沢ＲＣ
中條会員：立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

■ご結婚祝月：當麻会員

■令夫人誕生月：
相羽会員

◆樺澤会員：卓話をさせて頂きます。我慢して聞いてください。
◆山本会長、中丸幹事：
樺澤会員研修委員長、本日の卓話よろしくお願いします。

本日のニコニコ合計：　11,000円
累　　計　：　996,019円

■委員長報告

■野村クラブ管理委員長

春の親睦旅行について、案内状が届いていると思いますが、再度念のため確認事項として、夕食時にはジャケット着用願います。ゴルフ場のクラブハウスに出入りするのと同じです。今の時期皆さん上着は着ていると思いますが、忘れずにお願いいたします。その他ご説明したいことは、車中にて致します。楽しい旅行にしたいと思いますので、宜敷お願いいたします。

■卓話

■卓話者：
樺澤会員研修委員長

ロータリー理解月間に因んで

先ず、山本会長は、「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ、世界における親善と平和の確立に寄与することを目的とした事業および専門職務に携わる指導者が、世界的に結びあった団体である。」といわれています。まさにそのとおりで、「ロータリー」とはと、問われてこれに付け加えることはないと思います。
そこで、地区大会で深川純一様の感動するすばらしい基調講演のおさらいという意味で、深川パストガバナーが或るロータリーの会合での「職業奉仕の核にあるものと」というテーマでお話しをされましたようで、そのお話の一部をご紹介させて戴きます。深川様のお考えを正確にお伝えできない点もあるかと存じますが、お許しを賜りたいと存じます。
先ず、深川様は、「ロータリーは倫理運動だということであります。ロータリークラブというのは、社交クラブでありまして、ロータリアンに奉仕の心を育て、世の中に倫理を提唱して行くべき使命をもった団体なのであります。例えば、街角にたばこの吸殻が落ちていたとしますと、ロータリアンとしては街を美しくと吸殻を拾うと思いますが、吸殻を拾うことではなく、ロータリーは煙草の吸殻を捨てない人を育てることで、道徳を守る人を育てることが、ロータリーは倫理運動だということを意味するわけであります。」といわれています。
さらに、深川様は、「今上天皇陛下が皇太子殿下であらせられたときのお話として、皇太子殿下が宇治の万福寺に行啓されたとき、ご老師は、『韋駄天』という仏様のお話をされました。仏様には、阿弥陀如来、大日如来のように『如来』という仏様と、文殊菩薩のような『菩薩』という仏様、『毘沙門天』、『帝釈天』、『韋駄天』のような『天』という仏様などがおられます。『天』という仏様は、日常生活万般のことを司る仏様で、その中で、『韋駄天』といわれる仏様は、東の空が白んで参り、やがて、山の端に太陽がチラッと覗き、朝陽が大地に差し込んで瞬間をとらえて、一瞬のうちに全世界の家庭を訪れて仏の幸せがあるようにお祈りをします。」と話され、やがて、天子様となる皇太子殿下に、『この世の中に毎朝、全ての人たちの幸せを祈る韋駄天という仏様かいることを心に留めておかれますようにというお話をされた。』と述べられたそうです。
この、「韋駄天の心は天子様に限られるものではなく、ロータリアンの心の根底に流れている思想でもあり、幸せを祈るということは別の言い方をしますとロータリアンは全ての生活関係、職業関係において、自分の行動に愛を込めるということです。」といわれています。
また、日本カトリック学校協会の会長さんの渡辺和子さんのお話をされています。この渡辺様は、2.26事件で犠牲になられました教育総監の渡辺陸軍大将のお嬢さんのお話をされています。2.26事件を知らない方が多くなりましたが、昭和11年2月26日に陸軍の青年将校が昭和維新と称して反乱を起こし、高橋是清大蔵大臣などの三人を射殺し、数人に重症を負わせた事件です。
深川様は、渡辺和子さんについて、「書斎におられた渡辺様は、父君によって机の下に隠され、そこに、反乱軍が侵入し、渡辺様の目前で父君が暴徒の兵士に射殺されたとのことです。この渡辺様は、この2.26事件に感じることがあったのか、エリート社員として勤務されていた外資系の会社を辞められて、カトリックの信仰の道に入られ、アメリカのボストンで修道女として勉められたそうです。この修道女のお勉めのとき、食堂で大勢の夕食のために、お皿と、ナイフと、フォークとをテーブルにセットとするお仕事をされていました。そのとき、先輩の修道女が、渡辺さんに、『あなた今、何を考えていますか』とお尋ねになり、渡辺さんは、『何も考えておりません。』とお答えになりました。先輩の修道女が、厳しい顔で、『あなたは時間を無駄にしています。』といわれたといいます。先輩は、『お皿と、ナイフと、フォークとを並べるのであれば、やがて、その席にお座りになる人のために、なぜ、心の中でお幸せにと祈りながら並べないのですか。何も考えないで、ただ漠然とされているのは、時間の無駄ですよ』と、諭されたそうです。お皿を並べるというつまらない行為に愛を込めるように、自分の仕事にも愛を込める。私たちは、職業を営むときに、その全ての行動に愛を込めるということは、言い換えますと、倫理的な生活をしなさいということになります。これは、人を育てる基本前提で、倫理運動であるロータリーの基本前提でもあり、この心の問題を重視するのがロータリーの職業奉仕なのであります。」とお話をされています。
話は変りますが、同じご講話の中で、深川パストカバナーは、「1960～61年のエド・マクローリン国際ロータリー会長の、所信表明としてのターゲットは『You are Rotaryあなたがロータリーです。』というもので、深川さまは、このターゲットがが大好きですといわれています。国際ロータリーや、ロータリークラブがロータリーではなく、あなたがた一人ひとりのロータリアンの心の中に宿るもの、それがロータリーですと、エド・マクローリン国際ロータリー会長は『You are Rotary あなたがロータリーです。』のターゲットで呼びかけられました。一人ひとりのロータリアンが例会で自分の徳性を磨く、心を磨くことによって地域社会の特性、国際社会の特性が磨かれ、社会全体が明るくなるであろうと説かれたのです。
心を磨く、徳性を磨く、幸せを祈るなど、話が抽象的

ですが、話を具体化すると、ロータリーは倫理運動で、ロータリアンは例会で磨いた心、すなわち、倫理を世に提唱しなければならず、ロータリーの倫理の核というのは、職業倫理なのです。したがって、ロータリアンは先ず職業倫理を身につけて、それを職業社会に実践する使命があるわけです。
近年、食品偽装など現象は、職業倫理の衰退が原因であり、昨今、コンプライアンス(法令遵守)、法律を守ることを提唱されていますが、法律は人間として守るべき倫理の最低基準であり、ロータリーの職業倫理は法律を守るというような低レベルの問題ではなく、はるかに高いレベルの倫理基準を提唱しているのです。そして、愛情をもって職業をコントロールしていこう考え方が職業倫理の根本原理です。」といわれておられます。
これで、一応、深川パストガバナーのご講話のおさらいを終わりとさせて戴き、深川様のご講話は、追って刊行されます地区大会の記録をお読みいただきたいとお願いします。
次に、先月、ロータリーの友の2月号でご紹介しましたが、「ロータリーを一言で」での問いに、皆様いろいろのお考えでお答えになっておられます。アメリカの方で、アン・L・マシューズロータリー財団管理委員は、「100年余りの歴史を誇るロータリーは、特定の政治や宗教にとらわれない、世界でも最も権威ある奉仕団体です。ロータリアンとして私たちの目的は、ロータリー財団の支援を通じて、ずらりと並んだ教育的、人道的プログラムを通じて平和と理解を推進させることです。」といわれています。アメリカの方で、ジョン・F・ジャームロータリー財団管理副委員長は、「ロータリーとは、高い倫理基準に献身し、地元はもとより世界中の地域社会の人々のより良い暮らしのための、奉仕プロジェクトの推進をする奉仕団体です。ロータリーの目的は、教育的ならびに人道的プログラムを通じて、人々の生活を改善することにあります。」といわれています。ブラジルの方で、アントニオ・アラジェのＲＩ理事は、「ロータリーは、高い倫理基準を備えた職業人からなる世界的な組織です。私たちは、地域の職業人や青少年とともに活動しています。」といわれています。ニュージランドの方で、ウィリアム・ビル・ボイドロータリー財団管理委員長は、「私たちは人々に奉仕をするために存在しています。その代表的な例がポリオ撲滅キャンペーンです。国際的な奉仕団体であることを述べる必要があるでしょう。」といわれています。インドの方でカルヤン・パネルジーＲＩ会長エレクトは、「ロータリーは、約120万人の事業と専門職のリーダーが世界中から集まり、友情を育み、人道的奉仕を提供し、平和のために活動するボランティア組織です。職業生活ならびに私生活において高い倫理基準を保つのがロータリーの確固たる信念です。」といわれています。
私どもの地区の上野カバナーは、GOVERNOR'S MONTHLY LETTERで、私は、「ロータリーとは何か」と聞かれたら、「ロータリーは宗教ではなく、また、それに代わるべきものでもない。それは古くから存在する道徳観念を我々の現代生活に、なかんずく実業的職業生活に適用・実践することである。」というポール・ハリスの言葉を引用しますと言われています。
先ほどもお話しましたが、『You are Rotaryあなたがロータリーです。』のとおり、それぞれロータリアン一人ひとりにいろいろと表現の仕方はあると思いますが、親睦と職業奉仕がロータリーの本質であり、私は、「ロータリーの本質は、愛をもって職業を営む職業奉仕の実践にあり、毎週の例会は、親睦を通して職業奉仕を学ぶ自己研鑽の場である。」と考えています。
そして、私は、社会奉仕、世界奉仕を必要としないすばらしい世界の中となれば、ロータリーは、最初の親睦のクラブに戻る、すなわち、親睦に始まって親睦に終わると考えておりましたが、職業奉仕の実践は永遠の課題であると思います。
アーサー・フレデリック・シェルドンが発表した「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」、「奉仕の理想」、「超我の奉仕」、セントルイス宣言決議23-34の第1条についてお話すべきですが、2月の創立記念例会にてパスト会長の野澤会員がご説明されていますので、説明を省略させて戴き、ロータリーは愛であるとして、このお話しを終わらせていただきます。
次に、ドナルトカーター物語の不思議さについてお話をさせて戴きます。1905年2月23日に、弁護士のポール・ハリス、石炭商のシルベスター・シール、鉱山技師のガスターバス・ロア、洋服屋のハイラム・ショーレーの四人によってシカゴロータリークラブが設立され、当時の定款は、「第一条　会員の業務上の利益を振興すること。第二条　社交・親睦を深めること。」であり、クラブの会員同志の親睦と職業上の互恵取引を目的としていました。そして、1905年12月にシカゴロータリークラブに入会したフレッド・ツイードは、発明の特許出願を、弁理士のドナルド・カータに依頼していました。フレッド・ツイードはドナルド・カーターにシカゴロータリークラブに入会するように勧めましたが、定款をみたドナルド・カーターは、「なんと都合のいい定款なのだ。」と一笑に付し、「私はそんなクラブに入る意志はありません。会員以外の人々に、何か利益になるようなことをするのならばそのクラブは大きな将来性を持つはずで、ロータリークラブも市民に対する奉仕をすべきだと思います。」と入会を断りました。
フレッド・ツイードは、まさにそのとおり、クラブ内だけの相互補助では社会的存在意義がないと思い、カーターの考え方を実現させるために、クラブに入って一緒に行動しようと熱心に入会を勧めました。カーターはその熱意に打たれてクラブに入会し、ポール・ハリスを説得して次の定款第3条が追加されました。
第三条　シカゴ市の最大の利益を図り、市民としての忠誠心を培う。
この第三条の社会奉仕活動の実践が公衆便所設置運動でした。このことは、深川パストカバナーも、野澤パスト会長もドナルド・カーター物語として紹介されました。深川パストカバナーは、この間の地区大会の基調講演では、特許弁理士、日本では弁理士といいますがといわれましたドナルド・カーターの職業は私の職業と同じで、大変に興味を持ち、どのような生い立ちで、どのような環境で、このような奉仕の概念を思いつくのかと、調査いたしました。
私が当クラブに入会させていただいた当時、阿部パストカバナーにドナルド・カーターについてお話を伺い、資料も戴きましたが、資料はいずれも日本人ロータリアンの口述のものばかりで、ドナルド・カーターの写真もありません。
手元にあるポール・ハリス著「THIS ROTARIAN AGE」(日本題名・ロータリーの理想と友愛)をみますと、「ロータリーは最初の公益事業に手を染めたものであった。シカゴ市内に公衆便所を創設し普及したことこれである。これは、ロータリーの諸事業の中でも最も功名的なものであったと著者は記憶する。このロータリーの最初の事業はシカゴ市内のあらゆる重要な文化事業団体をこれに参加せしめ、また、市および各町の支持をも得たのであった。ただし、第一の公衆便所をワシントン街とラザール街との交差点の西北隅に建設するまでには、無関心ものや種々の規制の利害関係と二年以上も闘い

続けなくてはねばならなかった。このようにしてロータリークラブは始めてシカゴにおける文化事業団体中に列せられ、市の資産として数えられるに至ったが、この新事業に係る功績はむしろ小さなものというべく、それが大きな意義をなすのは、これにならって世界各地のロータリアンが同種のサービスを無数に提供するに至ったという点にある。」と記載されているのみで、ドナルド・カーターに関しては何ら記載もありません。
また、「ROTARY MOSAIC」にも同様な記載があるのみで、ドナルド・カーターに関しては何ら記載もありません。
そして、先ほどの「THIS ROTARIAN AGE」には、シカゴロータリークラブ創立当時のメンバーで1930年当時生存していた会員の写真が掲載されています。この写真には、フレッド・ツイードは写っていますが、ドナルド・カーターは写っていません。そこで、フレッド・ツイードが発明者と思い、アメリカ特許出願を調査したところ、1934年に出願した特許(米国特許第2148662号)はありましたが、1906とはあまりにも違い、これでないと思い、ドナルド・カーター物語は半信半疑でいました。
ところが、「THE ROTARIAN」2005年6月号100周年記念号に、ロータリークラブ創設当時のシカゴの街の写真と共に創立メンバーの四人の写真が掲載され、また、ドナルド・カーターがロータリークラブにフレッド・ツイードの紹介で1906年に加入したこと、そして、ドナルド・カーターは「PATENT ATTORNEY」であること、公衆便所を設置したいわゆるドナルド・カーター物語が記載され、また、公衆便所の写真も掲載されています。
その後、確か、田中毅パストカバナーがお書きになったものと思いますが、「炉辺談話(399)・シカゴ公衆便所設置運動の真相」にフレッド・ツイードの声明が掲載されていました。
この声明書によりますと、1906年エバレット・アレンが発明した空気弁の特許を受けるために、相談したこと、ドナルド・カーターは、シカゴ市民に対しても何らかの奉仕をする必要があるように定款を変えるように提案して、クラブに入会したこと、公衆便所の設置活動はフレッド・ツイードがドナルド・カーターに提案し、ドナルド・カーターとシカゴロータリークラブの活動の結果、市によって公衆便所が建設されたことに相違ないことをフレッド・ツイードがドナルド・カーターと共に署名しています。
そこで、発明者エバレット・アレンで米国特許を検索して見つけたのが、去年ご紹介したとおり、1906年の米国の特許出願を基礎としたイギリス特許第6178号で空気弁に関するものであり、この発明がロータリーの奉仕の実践の端緒になったと確信していますが、この基礎となった米国特許はまだ見つかっていません。
そして、ドナルド・カーター弁理士は、公衆便所の設置に関するドナルド・カーター物語は、ここまでで、はじめと終わりのないストリーとなりでポールハリスの著書にもドナルド・カーターの名前が記載されておらず、不思議な物語であると思います。
この謎解きができましたら、お教えいただきたいと思います。
自然科学世界では、実施可能か、産業上利用できるかは結論が一つであるはずですが、このように結論が異なることもあるので、先ほどお話した『You are Rotary あなたがロータリーです。』のターゲットのように、ロータリアン一人ひとりの考え方はあるとしても、ロータリーが親睦と職業奉仕の実践にあることは疑いのない真実で、私どもは職業に愛を込めることを忘れないで参りたいと思います。

■23年2月出席表

	氏　　名	3	10	17	24		
名	細渕　一男						
1	相羽　　正	△		○	○		75
2	赤木　盛一	○	○	○	○		100
3	樋口　剛史	○	○	○	○		100
4	土方　義一	○	△	○	○		100
5	飯田　能士			△	○		50
6	石山　　敬	○	○	△	○		100
7	樺澤　　襄	○	○	○	○		100
8	金子　哲男	○	○	○	○		100
9	北久保眞道		△	○	△		75
10	熊木　敏己		△	○	△		75
11	小町　幸生	○	○	○	○		100
12	町田　清二	△	○	△	○		100
13	目時　俊一	△	○	○	○		100
14	村田　秀雄	○	○	△	○		100
15	中條　基成	○	△	○	△		100
16	中丸　繁男	○	○	○	○		100
17	二ノ宮　繁	免除	免除	免除	免除		免除
18	野村　高章	○	○	○	○		100
19	野崎　一重	○	○	○	○		100
20	野澤　秀夫	○	△	○	○		100
21	嶋田　憲三	△	○	○	○		100
22	枚山　佳雄	△	○	○	○		100
23	田中　重義	○	○	○	○		100
24	土田　士郎			△			25
25	當麻　　誠	○	△	○	○		100
26	戸澤　　忠	○	○	○	○		100
27	漆原　次男	○		△	○		75
28	山本　智治	○	○	○	○		100
29	山宮　　隆			○	△		50
公式平均		93.55	87.10	100	96.88		94.38
出席規定適用免除者							
1	隅屋　宜一	○	○	○			
2	五十嵐光利	○	○	○	○		
3	木下　清一	○					
4	神崎　　武	○	○	○	○		
5	高橋　　眞						
6	村越　政光		○	○	○		

名：名誉会員　○：出席　△：メークアップ

■点鐘：山本会長